

# 平成20年度下期原子力発電施設等 周辺地域企業立地支援給付金について

本給付金は、原子力立地地域における雇用機会の創出と産業振興を図るため、雇用の増加を生む企業に対して、一定期間にわたって、企業の支払った電気料金等に基づき、道府県が給付金を交付する制度です。当センターでは北海道からの要請を受けて交付事務・審査事務を行っています。平成20年度下期は北海道、青

■お問い合わせ先  
 (財)電源地域振興センター 振興業務部立地審査課  
 電話：03-5405-8113  
 e-mail: ritti@den-gen.or.jp #kV

森県、宮城県、福島県、新潟県、茨城県、石川県、福井県、滋賀県、京都府、島根県、愛媛県、佐賀県、鹿児島県、鹿児島県の審査事務等を行う予定です。平成20年度下期募集は、平成20年10月頃行われる予定です。詳細は、募集時の「応募要領」をご覧ください。

## 初めて申請される場合

- 主な補助要件
  - 【電力契約】…新規立地または増設に伴う電力契約の新設または増設をしていること。
  - 【対象となる電気料金】…①平成20年4月1日～9月30日に支払った電気料金であること。
    - ②申請者が直接契約しているものであること。
    - ③産業用途の電力契約で、臨時契約等期間に制限があるものでないこと。
  - 【雇 用】…雇用人(雇用保険の一般被保険者)が3人以上増加すること。
  - 【投 資】…(「特例加算※」を受ける場合のみ要件とする。)
    - 新たな投資額：所在市町村 新設 500万円(増設250万円)以上
    - 隣接市町村 新設 1,000万円(増設500万円)以上

※特例加算とは、製造業および自治体で支援制度を整備している特定業種に対して行う、新規に採用した人数に応じた加算のこと。

## ■交付対象期間

立地(新増設)した翌期から原則8年間で、条件を満たす期間については、継続して交付を受けることができます。ただし、前述のとおり、電気料金の支払実績等に基づいて金額が決まるので、都度(上期・下期の年2回)申請して頂く必要があります。

## ●交付額(算定交付額(A)と交付限度額(B)のいずれか小さい額となります)

### ■算定交付額(A)：契約電力分交付額(I) + 特例加算分交付額(II)

#### ・契約電力分交付額(I)

①以下の計算式より算出単価(kWあたりの電気料金)を計算する。

算出単価	算定単価	
	第1欄	第2欄
～1,500円未満	750円	375円
1,500円以上2,500円未満	1,000円	500円
2,500円以上3,500円未満	1,500円	750円
3,500円以上4,500円未満	2,000円	1,000円
4,500円以上5,500円未満	2,500円	1,250円
以降1,000円刻み	以降500円刻み	以降250円刻み

算出単価 =  $\frac{\text{半期における実支払電気料金}}{\text{実契約電力} \times \text{半期における支払月数}}$

②①で算出した値を表1に当てはめ、算定単価を求める

〔所在市町村、隣接市町村(旧隣接)〕：第1欄  
 〔隣接市町村(旧外部)〕：第2欄

③以下の計算式により契約電力分交付額を算出する。

契約電力分交付額 = 算定契約電力<sup>※1</sup> × (算定単価 - 交付金単価<sup>※2</sup>) × 支払月数

増加雇用人数	上限
3人以上20人未満	1,500kW
20人以上	2,500kW

#### ・特例加算分交付額(II)

【所在市町村】：新規に雇用了人数 × 30万円 ※期末の雇用人数  
 【隣接市町村(旧隣接、旧外部)】：新規に雇用了人数 × 15万円 ※期末の雇用人数

#### ●交付限度額(B) ※交付限度額は(1)(2)のいずれか小さい額となります。

- 算定電気料金交付限度額：算定契約電力 × (算定単価 × 係数1 - 交付金単価) × 支払月数
- 支払電気料金交付限度額：半期における実支払電気料金 × 係数2 - (実契約電力 × 交付金単価 × 支払月数)

市町村区分	係数1	係数2
所在市町村	2	1
隣接市町村(旧隣接)	1.5	0.75
隣接市町村(旧外部)	2	0.50

## 既に本給付金の利用実績のある方が増設として申請する場合

本制度の交付期間は原則8年間ですが、増設した場合に次に掲げる要件を満たせば、増設の翌期から原則8年間になるまで期間を延長することができます。ただし、1事業所2回までに限ります。

【電力契約】…工場または事業場の増設に伴い契約電力が増加していること。

- 【対象となる電気料金】…①平成20年4月1日～9月30日に支払った電気料金であること。
  - ②申請者が直接契約しているものであること。
  - ③産業用途の電力契約で、臨時契約等期間に制限があるものでないこと。
- 【雇 用】…雇用人(雇用保険の一般被保険者)が3人以上増加すること。
- 【投 資】…新たな投資額：所在市町村 250万円以上、隣接市町村 500万円以上

【対象業種】…製造業および自治体で支援制度を整備している特定業種であること。  
 ※本制度は平成20年度以降に増設があったものが対象となります。平成19年度以前の新増設は、旧制度の適用となります。

# 「エネルギープラザ2008in御前崎」 開催のお知らせ

当センターでは、平成二十年十一月五日(水)～七日(金)の三日間、経済産業省資源エネルギー庁の委託を受け、「エネルギープラザ2008 in 御前崎」を開催いたします。この事業は全国の電源立地地域の自治体職員や地域振興の関係者を対象として、地域振興に資する講演及び地域振興事例の紹介・情報提供等の内容による検討会を実施することにより、参加者の地域振興に関する実践力を高め、自治体職員間等の情報交換を図ることを目的としております。

つきましては、多数のご参加をいただきますよう、ご案内いたします。

- ・開催地：静岡県御前崎市
  - ・主催：経済産業省 御前崎市
  - ・後援：静岡県
- 参加ご希望の方は事前のお申し込みが必要となります。詳しくはセンターHPをご覧ください。  
<http://www.dengen.or.jp/>

■お問い合わせ先  
 (財)電源地域振興センター 普及啓発課  
 電話：03-5405-8113  
 e-mail: enepi@den-gen.or.jp #kV

	プログラム	時間	会場	
11月5日(水)	開会式	15:00～15:15	市民会館大ホール	
	オリエンテーション	15:15～15:20		
	基調講演	15:30～16:30		
	地域振興事業検討会ガイダンス	16:45～17:15	移動バス車中	
11月6日(木)	交流会 ※1	17:30～19:00	御前崎グランドホテル	
	地域振興事業検討会 ※2	検討会1 交流事業開発検討会	9:30～17:00 ※3	原子力広報センター研修室
		検討会2 特産品開発事業検討会		御前崎市役所会議室305
		検討会3 特産品販路開拓検討会		御前崎市役所会議室302
		検討会4 広域観光事業検討会		池新田公民館研修室
		検討会5 中心市街地活性化検討会		本町公民館研修室
検討会6 産業支援制度活用検討会		中町公民館研修室		
11月7日(金)	施設見学会 ※4	施設見学会 Aコース	電源三法交付金施設～浜岡原子力館～海鮮なぶら市場など	
		施設見学会 Bコース	浜岡原子力発電所構内～海鮮なぶら市場	

※1 交流会は御前崎市と(財)電源地域振興センターの共催で希望者のみ。 ※2 各検討会は定員50名となります。  
 ※3 主に午前中フィールドワーク、午後ワークショップ検討会。ただし、検討会によって異なる場合があります。 ※4 施設見学会は希望者のみ。

# 柏崎市海水浴キャンペーン 「うわっと柏崎！」を応援しました

平成二十年七月十九日(土)～二十一日(月)の三日間、柏崎市と柏崎観光協会の主催による観光キャンペーンが長野、高崎、大宮の各駅頭で実施されました。当センターは柏崎市長からの依頼を受け、会期中積極的に応援しました。

このキャンペーンは、多くのお客さまに柏崎の「きれいな海」や「浜茶屋」の魅力を紹介し、昨年夏に発生した新潟県中越沖地震より落ち込んだ海水浴客の増員を目的に実施されたものです。当日は柏崎市の海水浴場や観光地を紹介するパンフレットやチラシ等の配布

やパネルの展示、郷土芸能である「日本海太鼓」の実演紹介柏崎のお米「こしいぶき」のプレゼント抽選会を行い、柏崎の良さを多くの方に知って頂きました。お客さまからは「初めて行った海水浴は柏崎なのよ」「今週子供たちと行ってみようかしら」といった声が聞かれました。

例年百万人を超えていた海水浴客は、昨年十六万人にまで落ち込みましたが、今年は概ね七十万人まで回復が見通しです。来年は百万人復活を目標にしています。



高崎駅にて日本海太鼓の実演紹介



長野駅にてキャンペーンの様子 柏崎市長が先頭になって地元PR

人事往来

●経済産業省(平成20年5月~7月)抄

○平成20年6月23日付発令

氏名	(新)	(旧)
波留 静哉	近畿経済産業局産業部長	資源エネルギー庁電力・ガス事業部核燃料サイクル産業立地対策室長
松下 達也	資源エネルギー庁電力・ガス事業部核燃料サイクル産業立地対策室長	特許庁総務部総務課長補佐

○平成20年6月30日付発令

氏名	(新)	(旧)
飛田 聡	中部経済産業局電力・ガス事業北陸支局長	中小企業事業環境部経営安定対策室長
鎌倉 正次	大臣官房付・辞職	中部経済産業局電力・ガス事業北陸支局長

○平成20年7月11日付発令

氏名	(新)	(旧)
石田 徹	産業エネルギー庁長官	産業技術環境局長
中西 宏典	産業技術環境局基準認証政策課長	資源エネルギー庁電力・ガス事業部原子力立地・核燃料サイクル産業課長
山本 雅史	北海道経済産業局長	内閣官房内閣参事官(内閣官房副長官補付)・知的財産戦略推進事務局参事官
根井 寿規	東北経済産業局長	原子力安全・保安院原子力発電検査課長
長尾 尚人	中部経済産業局長	中小企業庁経営支援部長
平工 奉文	近畿経済産業局長	資源エネルギー庁次長
長尾 正彦	中国経済産業局長	特許庁総務部長
徳増 有治	四国経済産業局長	大臣官房審議官(産業技術担当)
橋高 公久	九州経済産業局長	大臣官房審議官(消費者政策担当)
木部 和彦	資源エネルギー庁次長	大臣官房審議官(エネルギー・環境担当)
森本 英雄	資源エネルギー庁電力・ガス事業部原子力立地・核燃料サイクル産業課長	北海道経済産業局地域経済部長
望月 晴文	経済産業事務次官	資源エネルギー庁長官

●電源立地都道府県知事(平成20年5月~7月選挙分)

都道府県名	氏名	当選月日
鹿児島	伊藤 祐一郎	7月13日

●電源地域市町村首長(平成20年5月~7月選挙分)

市町村名	氏名	当選月日
昭和村(群馬県)	加藤 秀光	5月13日
矢部村(福岡県)	中司 謙治	5月13日
小田原市(神奈川県)	加藤 憲一	5月18日
御坊市(和歌山県)	柏木 征夫	5月18日
奥多摩町(東京都)	河村 文夫	5月18日
山添村(奈良県)	窪田 剛久	5月18日
相生市(兵庫県)	谷口 芳紀	5月25日
智頭町(鳥取県)	寺谷 謙一郎	6月8日
福知山市(京都府)	松山 正治	6月15日
古座川町(和歌山県)	武田 丈夫	6月15日
木之本町(滋賀県)	岩根 博之	6月17日
平取町(北海道)	川上 満	6月22日
中城村(沖縄県)	浜田 京介	6月22日
売木村(長野県)	松村 増登	6月24日
厚真町(北海道)	宮坂 高市朗	6月29日
下條村(長野県)	伊藤 喜平	6月29日
川上村(奈良県)	大谷 一二	7月1日
古冠村(北海道)	小林 豊	7月2日
小浜市(福井県)	松崎 晃治	7月13日
北山村(和歌山県)	奥田 貢	7月22日
益田市(鳥根県)	福原 慎太郎	7月27日
角田市(宮城県)	大友 喜助	7月27日
太子町(兵庫県)	首藤 正弘	7月27日
江府町(鳥取県)	竹内 敏朗	7月27日
小国町(山形県)	小野 精一	7月29日

「原子力発電所見学会」を実施しました

経済産業省資源エネルギー庁の委託を受け、原子力発電の必要性や安全性、立地地域の現状等に対する認知向上や理解促進を図る「原子力発電所見学会」を全国で実施しております。

七・八月には九州電力(株)川内原子力発電所、関西電力(株)高浜発電所及び大飯発電所、日本原子力発電(株)東海第二発電所、北海道電力(株)泊発電



7月30日 九州電力川内原子力発電所・P R館



8月5日 関西電力高浜発電所・意見交換会風景

所の見学会を実施しました。それぞれ電力消費地である鹿児島市、大阪市、神戸市、東京都、札幌市などから教職員や自治体職員など計二百九十九人に参加いただきました。当日は現地向かうバスの中で、「世界のエネルギー情勢」や「原子力の必要性」などについて、専門家が講義を行い、まず参加者に基礎知識を習得

していただきました。発電所では、構内をバスで一巡、P R館及び訓練設備等を見学した後、発電所の職員や地元自治体職員との意見交換会を実施しました。参加者からは、「職員のプロ意識の高さに驚いた」、「学んだことを社会の授業で取り上げたい」といった声が聞かれました。



8月7日 関西電力高浜発電所・原子力研修センター



8月30日 北海道電力泊発電所・P R館



8月25日 日本原子力発電東海第二発電所・意見交換会風景

●お問い合わせ先  
 (財)電源地域振興センター 普及啓発課内  
 電話・03-5405-8128  
 e-mail: fukyu@dengen.or.jp #16

【Vol.12 読者の声から】

●Vol.12の「ふるさと応援団」の記事で、豆のブランド化を官民一体となって進める北海道本別町「キレイマメの会」の取り組みは、農家の生き残る道を探る必要性があると感じさせるものでした。  
 (愛媛県西予市 女性)

●私の住む鹿児島県指宿市は回転式でめん流し発祥の地です。水の郷選に認定されている湧水を利用したそうめん流しは、県内外から夏を問わず多くの観光客が訪れます。  
 (鹿児島県指宿市 男性)

●読者アンケートの結果を見て、読者の方々が何に興味や関心があるのか、その傾向がわかりました。  
 (長野県御代田町 女性)

【読者プレゼント】

今号の特集「Pre UP」にご登場いただきました新潟県柏崎市のご厚意により、「斑紫銅レターオープナー(トモ)」を五名様にプレゼントいたします。とじ込みのアンケートハガキに本誌へのご意見、ご感想などをご記入の上、平成二十年十月二十日(消印有効)までお送りください。なお、当選の発表は発送をもって代えさせていただきます。  
**「斑紫銅」に関するお問い合わせ先**  
 柏崎市産業振興部観光交流課  
 025712112334



斑紫銅(はんしじゅう)は、かつて仏像などの鋳金に用いられた技術、新潟県に最初に導入されたのが、柏崎天久保の地でした。三十年前に新潟県無形文化財に認定され、現在は四代目師匠原野重正によって受け継がれています。